

鹿児島県歴史資料センター黎明館
所蔵品目録(XI) 文書(2)

Collection Catalogue (XI) : Documents (2)
Kagoshima Prefectural Museum of Culture
REIMEIKAN
1994

鹿児島県歴史資料センター 黎明館

鹿児島県歴史資料センター黎明館 所蔵品目録(XI) 文書(2)

Collection Catalogue (XI) : Documents (2)
Kagoshima Prefectural Museum of Culture
REIMEIKAN
1994

鹿児島県歴史資料センター 黎明館

はじめに

鹿児島県歴史資料センター黎明館に収蔵・展示する資料の収集については、県内外の方々の積極的な御協力により、現在約6万5千点の資料を収蔵しています。

ここに、あらためて皆様の御協力に対し厚く御礼申し上げます。

当館の資料については、広く県民や関係者の方々に活用されることを願って、「美術・工芸」・「美術・工芸(2)」・「文書」・「産業(Ⅰ)」・「産業(Ⅱ)」・「歴史」・「歴史(2)」・「民俗」・「考古」・「総記・記録・自然」の目録を発行してまいりました。

本年度は、所蔵品目録第11輯として、文書の部の第2巻を発行することにしました。この目録に収められた資料は、幕末・維新期に活躍した郷土の人々の文書が中心をなしていますが、中世にさかのぼる文書も含まれています。

この目録が、地域の文化向上の一助になれば幸いです。

平成6年3月

鹿児島県歴史資料センター黎明館
館長 井之口 恒 雄

凡 例

- 1、この目録は黎明館が平成2年3月31日現在で収蔵している文書資料について収録したもので、寄託品は除いた。
- 2、資料の並べ方は、原則として年代順に行い、一括して所蔵しているものについては家ごとにまとめた。
- 3、資料の記載は、番号、資料名、数量、摘要、年代、大きさ、受入年・方法、台帳番号等とした。
- 4、資料の大きさは、センチメートル単位とし、縦×横を記した。
- 5、資料写真は、資料の中から適宜に抽出し、解説文をつけた。解説文の漢字はできるだけ当用漢字に、変体仮名も平仮名に改めた。
- 6、この所蔵品目録に記載した以外に「歴史」の部等に分類されている文書もある。

目 次

はじめに

凡 例

資料写真・解説文…………… 1～20

所蔵文書目録

中 世…………… 21～22

近 世…………… 23～33

明 治…………… 34～55

大正・昭和…………… 56～78

山門文書…………… 79

曾木文書…………… 80～90

本田文書…………… 91～93

愛甲文書…………… 94～101

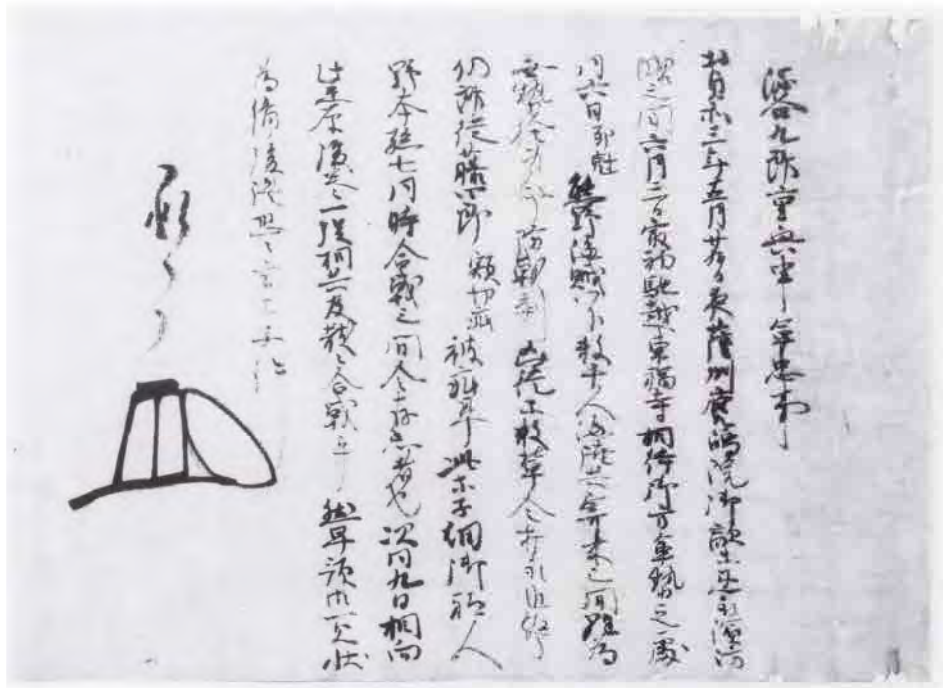
葛城彦一文書……………102～106

大久保利通文書……………107～150

黒田清隆文書……………151～169

寺島宗則文書……………170～172

中井弘文書……………173～182



(29.5×49.5)

一 渋谷重興軍忠状 (中世―三四)

渋谷九郎重興申軍忠事

於貞和三年五月廿九日夜薩州覺嶋院、御敵等忍取濱崎城之間、六月三日最初馳越東福寺、相待御方軍勢之處、同六日卯魁、熊野海賊以下數千人、海陸共寄來之間、雖為無勢、捨身命防戰、剩凶徒等數輩、令打取追返了、仍郎徒藤四郎額切疵被疵畢、此等子細、御祇人野本孫七同時合戰之間、令存知者也、次回九日相向紫原後卷、一族相共及散々合戰了、然早預御一見狀、為備後證、恐々言上如件、

承了(花押)

Handwritten Japanese calligraphy in cursive style (sōsho), consisting of two columns of text. The characters are fluid and connected, typical of personal correspondence from the Edo period.

(34.0×48.2)

二 島津家久書状 (近世一三二九)

御さ候ハす候
 やかて御
 一筆申候
 いとま 此人ゆふの
 なり候 事候て
 ま、
 心やす くだし申候
 かるへく候 こ、元
 かハる
 御入候ハす候
 やかて 其元いつ
 くだり
 可申候 かたも
 そくさいの
 とり よし
 あへす
 をくり
 申候 めて度候
 春中にハ
 おふくろ くだり可申候間
 いもしへも
 花のもとにて
 こ、ろへ さ、をのみ
 申度候 詠め可申候

こ、元にてハ
 しろへも あやつり
 おハし候 さんと さるひき
 なども
 御入候ハす候
 思ひ候 まして
 又さ、
 かしく つ、ミ
 すこしも たいこの
 音

御さ候
 ハす候
 なに、ても
 ま、
 いさ、か
 なくさミ
 御入候ハす候
 事候
 かう儀
 なにかと
 一日もいたつらに
 ゐ候事も

霜月廿日 大すミ守
 より
 たん
 むもし
 まいる
 いゑ久

東郷平八郎書簡
 可被成御座恐賀
 奉存候、陳者
 昨日午後五時芝
 三浦亭ニ於テ
 旧浄光明寺南
 洲翁参拜所
 改築之儀ニ付
 御談会御開キ之儀
 御通知ニ接シ候処、
 不在ニ而今朝婦
 宅、御紙面ヲ拜シ候
 次第ニ而、御答事
 不致候、何れ其之内
 拝眉之上、い細承知
 致度、此之段
 得貴意候也、
 九月四日 東郷平八郎
 柚木慶二殿

(17.5×92.5)

三 東郷平八郎書簡 (明治一五八一)

拜啓、弥御清穆
 可被成御座恐賀
 奉存候、陳者
 昨日午後五時芝
 三浦亭ニ於テ
 旧浄光明寺南
 洲翁参拜所
 改築之儀ニ付
 御談会御開キ之儀
 御通知ニ接シ候処、
 不在ニ而今朝婦
 宅、御紙面ヲ拜シ候
 次第ニ而、御答事
 不致候、何れ其之内
 拝眉之上、い細承知
 致度、此之段
 得貴意候也、
 九月四日 東郷平八郎
 柚木慶二殿

四 妙義讓狀（山門文書一七）

讓与 嫡子二郎太郎所

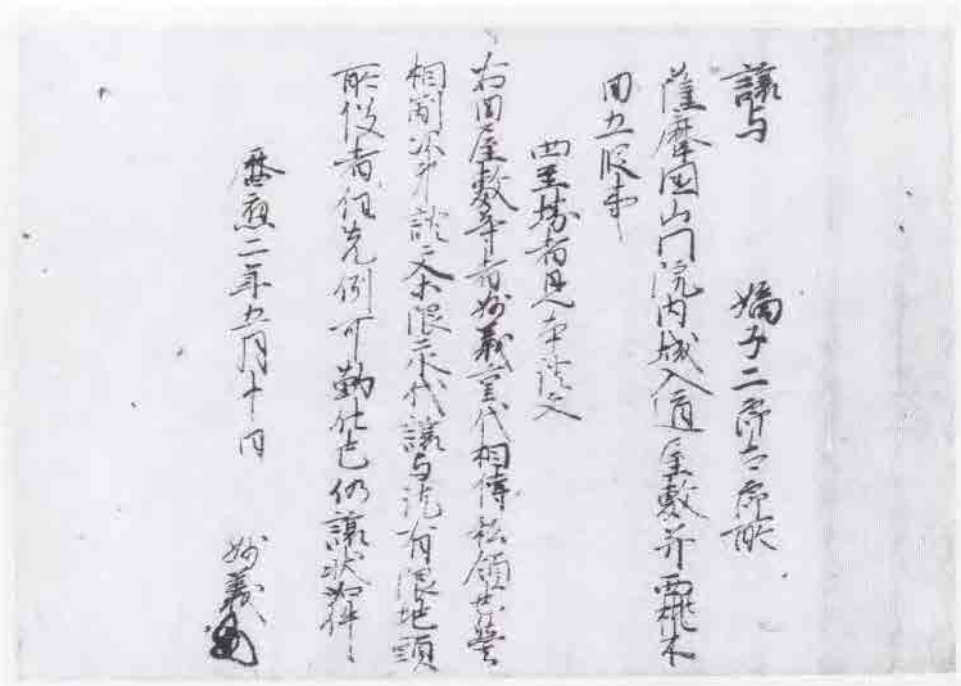
薩摩国山門院内城入道屋敷并西桃木
田五段事、

四至堺者、見本證文、

右田屋敷等者、妙義重代相傳私領也、然者
相副次第證文等、限永代讓与訖、有限地頭
所役者、任先例可勤仕也、仍讓狀如件、

曆応二年五月十日

妙義（花押）



(29.3×39.5)

讓与

嫡子二郎太郎所

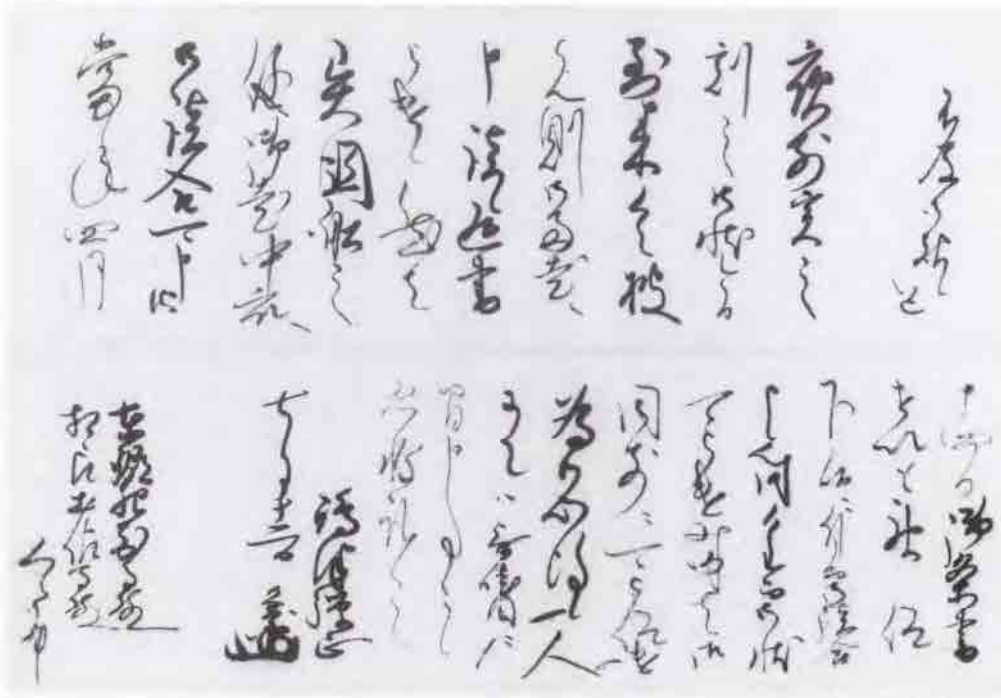
薩摩国山門院内城入道屋敷并西桃木
田五段事

四至堺者、見本證文

右田屋敷等者、妙義重代相傳私領也、然者
相副次第證文等、限永代讓与訖、有限地頭
所役者、任先例可勤仕也、仍讓狀如件、

曆應二年五月十日

妙義



(30.8×44.9)

五 島津久慶書状 (曾本文書一六)

不及御報候、

以上、

夜前亥之

刻之御状、今日

到来、令披

見、則御両老へ

申談候、返書

被遣候、然^者

異国船之

儀、御老中衆へ

御談合可申由、

當年四月

十四日御条書

を以も被^仰

下候^二付^而、御談合

申候間、重^而御状

可被遣時^者、御

同前^二可被仰遣候、

為御心得候、一人

にてハ無^暗候

間申事^二候、

恐惶謹言、

嶋津彈正

七月十二日 久慶(花押)

東郷肥前守殿

相良土佐守殿

人々御中

已上

去月廿九日、尊札、即致披

露候、然者薩州様被成

御疹候由相聞得候哉、今度

御父子御三人様共ニ被遊、皆々

御快氣候、尤以御直書雖可

被仰候、先從拙者可申達

由、御意候間、如斯候、仍

黃門様被成御帰国、御満足

奉察候、尚期後音候、恐惶

敬白、

伊勢兵部少輔

六月廿日



玄番頭様

尊報人ニ御申

(17.7×53.4)

六 伊勢貞昌書狀 (曾木文書一、二九)

已上

去月廿九日之尊札、即致披
露候、然者薩州様被成

御疹候由相聞得候哉、今度
御父子御三人様共ニ被遊、皆々

御快氣候、尤以御直書雖可
被仰候、先從拙者可申達

由、御意候間、如斯候、仍
黃門様被成御帰国、御満足

奉察候、尚期後音候、恐惶
敬白、

伊勢兵部少輔

六月廿日 貞昌(花押)

玄番頭様

尊報人ニ御申

一傳所仰候、
 其地御無事之由、
 珍重々々、拙子暇之
 儀付、種々被入御
 情之段、過当々々、
 新二右公御念被
 入勸被仰候
 之由、御懇意之
 可申様無之候、
 可然之様御申
 被成候而可給候、
 一何ソ書申候て上せ
 度候へ共、今時分
 猶々御袋様
 手カ、マリ候て
 物ヲ書得不申候間
 無其儀候、来
 春暖ナリマテ生
 申候ハ、書して上せ
 可申候、
 一貫文明解御手
 前隙明申候、休也江
 御遣し候て
 可給候、具堪兵
 可申候間
 不詳候、恐惶頓首、
 養善院
 十二月八日 如竹(花押)
 拜呈
 川野千介様

(30.8×47.7)

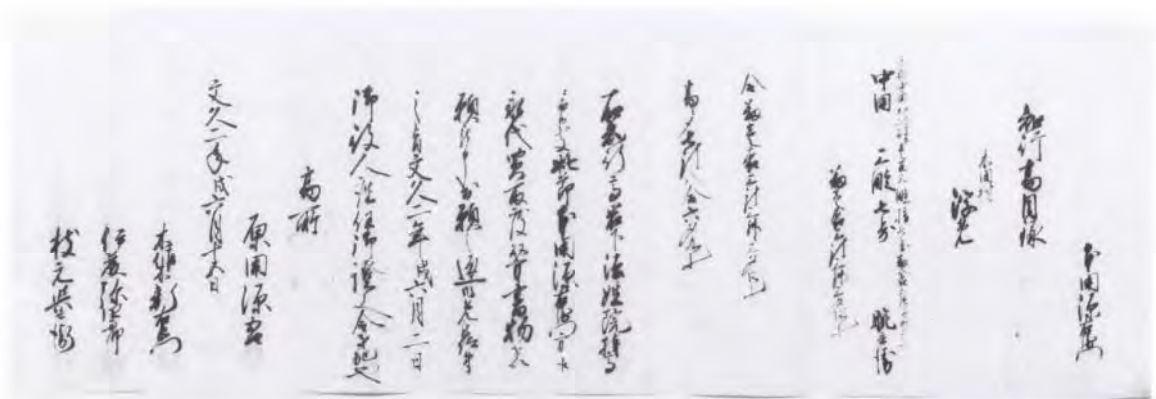
七 泊如竹書状(曾木文書一六七)

猶々御袋様
 手カ、マリ候て
 物ヲ書得不申候間
 無其儀候、来
 春暖ナリマテ生
 申候ハ、書して上せ
 可申候、
 一貫文明解御手
 前隙明申候、休也江
 御遣し候て
 可給候、具堪兵
 可申候間
 不詳候、恐惶頓首、
 養善院
 十二月八日 如竹(花押)
 拜呈
 川野千介様

伊本面具令披見候、
 如承候、於爰許談
 合二者、典廐新知行
 之儀三付、使者を可被
 差上之由相定候間、
 市来織部佑・税所弥右衛門尉
 被申付候処、此度鹿兒
 嶋之御談合二、先々此
 節者飛脚迄二て可然
 之由候条、不及是非候、
 此儀明春二御置候様
 にと、便次第可申通候、
 令得其心候、恐惶
 謹言、
 極月廿九日龍伯(花押)
 維新老
 御返報

(30.2×46.0)

八 島津義久書状 (曾本文書一八〇)



(26.4×84.5)

九 知行高目録 (本田文書一七六)

本田源右衛門

知行高目録

木田村

浮免

弥勒中田^{十八間半} 壹反三畦拾七步 糶八表五升せ町十二

中田 三畦七步

腕兵衛

糶壹表三斗三升三夕四才

合糶壹表三斗三升三夕四才

高^{ニシテ} 七斗八合六夕九才

右知行高岩下法姓院持高

二而 候処、此節本田源右衛門方^江

永代買取度、双方書物を以

願被申出、願之通御免被仰付

之旨、文久二年^戊 六月二日

御役人座任御証文、令支配也、

高所^回

原田源吾^回

文久二年^戊 六月十五日

木佐木新右衛門^回

伊藤弥四郎^回

枝元與兵衛^回

口上

其後ハ御無さた申上候へとも、
 まつく御障りなく御つとめ
 被成候事、かすく御めて度存上候、
 しかし此内より少し御不快ニ
 御引入のよし承り、御あんし申上まいらせ候、
 寒さの折からニも御さ候ま、せつかくく
 御念御入御養生被成候やうニと
 いのり上候、この御さかなま事く
 輕少なから、御ミまいの印迄ニ
 進上いたしまいらせ候、御つ、袖ハ
 御召下戴候ま、八十二さまへ
 御めて度御ゆつり申上候、まつく
 御ミまいかたく一筆申上候、
 めて度かしく、

(16.5×50.5)

十 税所敦子書状（葛城彦一文書一二一）

十二月廿二日蒸気車ヲ桑港
 ヲ發ス、當日「サクラメント」ニ至ル、
 但
 途中「トクトント」イヘル所ニテ狂
 病院ヲ見ル、男女院ヲ殊ニス、
 惣人員凡千百人位、製造ノ
 清潔万端ノ行届タル可感、
 院ノ中広間ノ一室アリ、是教
 師ノ法場也、其餘可推知、
 「サクラメント」ハ「カルホルニヤ」州ノ一首府也、
 人員凡三萬五千人市店最繁榮ノ
 地ト見ヘタリ、此ニ逗留スルコト兩日、
 廿三日同所大小ノ議院及ヒ政庁
 ニ至ル、議員ハ大小合百人位、大ハ鎮台
 管之、小ハ副鎮台管之ト云、「カルホルニ
 ヤ」州ノ長官如県令及「サクラメント」ノ鎮台
 等面會、
 同日製作所ニ至ル、製鉄蒸気車
 製造其外修復等実ニ莫大之
 仕掛ニテ鐵道ヲ建築スルニハ最急
 務之場所ナリ、一今夜議院ノ点燈ヲ見ル
 一八字ヨリ響延凡百五十人
 同日新聞帑ヲ刊行スル場所ヲ見ル、
 蒸気仕掛器械ニテ一字間二千五
 百枚ヲ摺出ス、

(10.5×70.0)

十一 大久保利通渡米中日誌部分 (大久保利通文書一〇五)

十二月廿二日蒸気車ニテ桑港

ヲ發ス、當日「サクラメント」ニ至ル、
 但

途中「トクトント」イヘル所ニテ狂

病院ヲ見ル、男女院ヲ殊ニス、

惣人員凡千百人位、製造ノ

清潔万端ノ行届タル可感、

院ノ中広間ノ一室アリ、是教

師ノ法場也、其餘可推知、

「サクラメント」ハ「カルホルニヤ」州ノ一首府也、

人員凡三萬五千人市店最繁榮ノ

地ト見ヘタリ、此ニ逗留スルコト兩日、

廿三日同所大小ノ議院及ヒ政庁

ニ至ル、議員ハ大小合百人位、大ハ鎮台

管之、小ハ副鎮台管之ト云、「カルホルニ

ヤ」州ノ長官如県令及「サクラメント」ノ鎮台

等面會、

同日製作所ニ至ル、製鉄蒸気車

製造其外修復等実ニ莫大之

仕掛ニテ鐵道ヲ建築スルニハ最急

務之場所ナリ、一今夜議院ノ点燈ヲ見ル
 一八字ヨリ響延凡百五十人

同日新聞帑ヲ刊行スル場所ヲ見ル、

蒸気仕掛器械ニテ一字間二千五

百枚ヲ摺出ス、

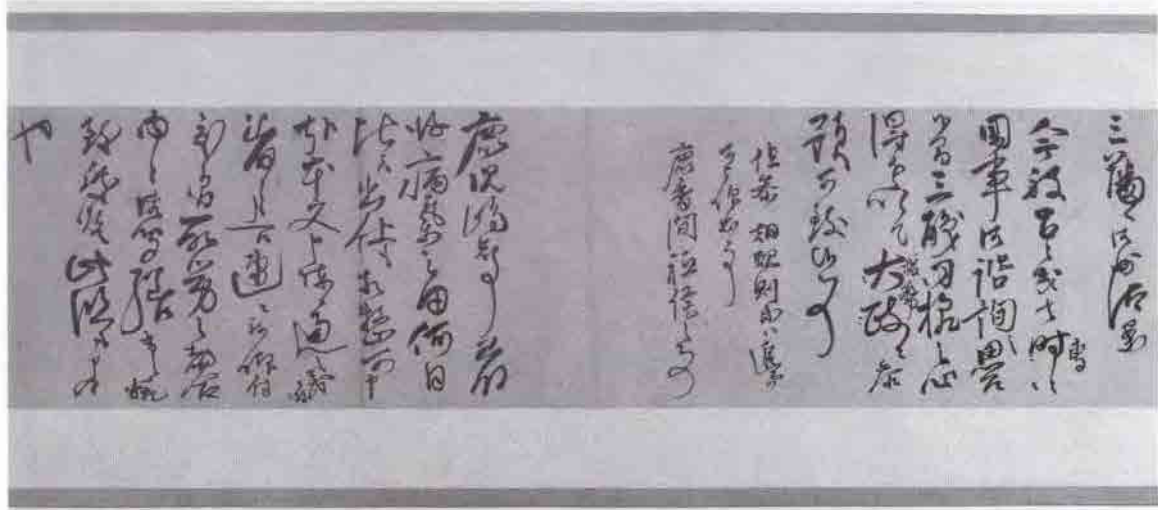
西郷隆盛

芳翰忝拜誦仕候、
陳ハミニヘル銃かれ結
等之義、早々御遣被下儘ニ
御受取申上候、將又柴山
東下之義何様之御用歟ハ
不相分候得共、フロイセン
ミニストルニハ近日着坂之
模様申来候、先月廿九日
横浜出帆と之噂ニ御座候、
当地ニ而ハ早宿等之手当
ニハ相成居候由御座候、高輪
借地之義ハ右様之振
合御座候ハ、江戸ニ而ハ相調
申間敷歟、いつれ当地ニ而
御談判被成度事と相
考居申候、此段ハ為御
心得申上置候、頓首、
西郷吉之助
八月朔日
大久保一藏様

(16.0×94.0)

十二 西郷隆盛書簡 (大久保利通文書一四一)

芳翰忝拜誦仕候、
陳ハミニヘル銃かれ結
等之義、早々御遣被下儘ニ
御受取申上候、將又柴山
東下之義何様之御用歟ハ
不相分候得共、フロイセン
ミニストルニハ近日着坂之
模様申来候、先月廿九日
横浜出帆と之噂ニ御座候、
当地ニ而ハ早宿等之手当
ニハ相成居候由御座候、高輪
借地之義ハ右様之振
合御座候ハ、江戸ニ而ハ相調
申間敷歟、いつれ当地ニ而
御談判被成度事と相
考居申候、此段ハ為御
心得申上置候、頓首、
西郷吉之助
八月朔日
大久保一藏様



(16.0×76.5)

十三 三条実美書簡（大久保利通文書一八三）

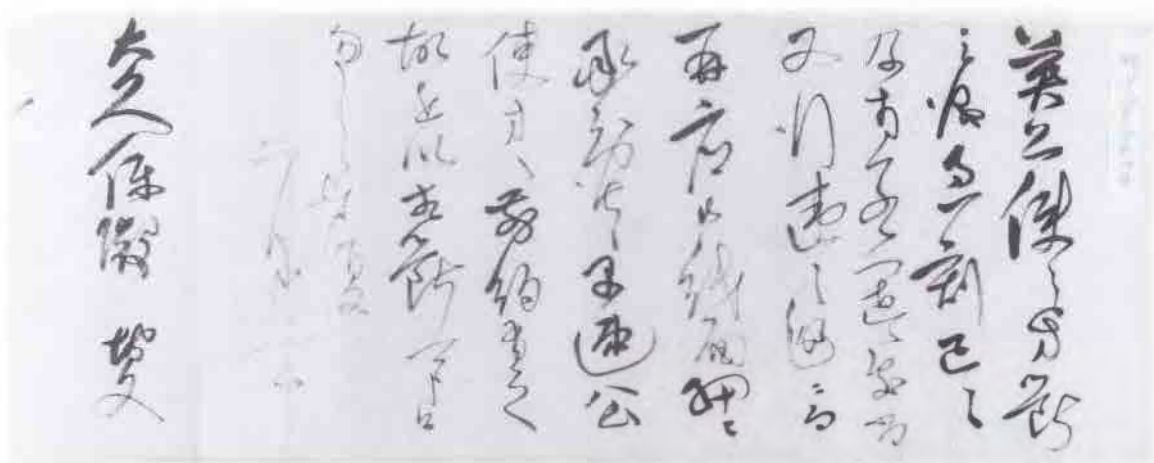
三藩へ御沙汰案
 今般召之義者時々
 国事御諮詢之思召
 候間、三職同様之心
 得を以て大政ニ参
 預可致候事、
 但参朝規則等ハ追
 而被仰出事、
 鹿香間祇候之事、
 鹿兒島知事着
 後病氣之由、何日
 比ニハ、出仕も相整可申
 哉、本文申陳候通之義ニ付、
 着之上ハ速ニ被仰付
 度候間、所勞之都合
 内ニ御聞繕有之候様
 致度候、此段も申入候
 也、



(16.0×48.0)

十四 岩倉具視書簡（大久保利通文書―三五―）

只今帰宅之所懇々
 御細書深御思慮
 御申越不浅忝存候、
 何も拝承、尚條公
 申合十分尽力可仕
 と存候、○今夕西郷方江
 行向候所、朝鮮事件
 頻りに切迫論有之候
 中、少々早く御咄し
 申置度事有之候間、
 是非明日ハ二時比迄
 出頭と存候、午前^者
 御他出^{二面}よろしく候、
 早々以上、
 九卅 具視
 大久保殿
 来人有之籠答
 御断申入候也、



(18.0×65.0)

十五 伊藤博文書簡（大久保利通文書―四九二）

英公使之方断
 之儀過刻已^ニ
 及拝答置候処、尚
 又行違之趣^{ニ而}
 再応御紙面細^キ
 承知仕候、早速公
 使方へ前約有之
 故を以相断可申候、
 勿^キ奉復、
 二月一日
 大久保殿 博文

只今歸掛罷出候得共
 御留主ニ御座候間曳取
 申候、登營之都合者
 殊之外之運ニ相成、
 王政覆古之義十分ニ
 相立、実ニ意外之
 事ニ御座候、明日弥
 奏聞相成ト之事ニ
 相決申候、早ニ御咄も
 申上度候得共、今宵者
 余程草臥申候間、今宵
 之処者御免、明朝
 罷出尚御談し申上度
 義も御座候間、左様
 御承知可被下候、此旨
 形行迄早ニ如此
 御座候、以上、
 十月十三日

(16.0×70.0)

十六 小松帶刀書簡 (大久保利通文書一五五〇)

六四

過般病氣保養、普西比利亞地方游歴
ノ儀於出御許可ヲ蒙リ、自是該地方旅
行季節ノ都合有之、歸路魯都彼得
堡へ出、歐洲諸国ヨリ米國ヲ經テ歸朝
仕度尤時日ノ儀ハ往復共凡七箇月ヲ
費シ可申、右特別ヲ以御許容被成下度、
此段更ニ奉願候也

明治十九年六月一日 内閣顧問伯爵黑田清隆

内閣總理大臣伯爵伊藤博文殿

願ノ趣被聞食

明治十九年六月三日

(28.0×40.0)

十七 黑田清隆旅行願書（黑田清隆文書一七五）

過般病氣保養ノ為西比利亞地方游歴

ノ儀願出御許可ヲ蒙リ候処、該地方旅
行季節ノ都合有之、歸路魯都彼得

堡へ出、歐洲諸国ヨリ米國ヲ經テ歸朝

仕度、尤時日ノ儀ハ往復共凡七箇月ヲ

費シ可申、右特別ヲ以御許容被成下度、

此段更ニ奉願候也、

明治十九年六月一日 内閣顧問伯爵黑田清隆

内閣總理大臣伯爵伊藤博文殿

願ノ趣被聞食、

明治十九年六月三日

御壯榮被成御座候条奉敬
 賀候、さて小生儀此内分
 伊勢地方へ遊獵ニ出掛
 ケ居候処、一昨夜
 后太皇宮陛下之御病氣ヲ
 承り、俄ニ帰京仕候、然ル処
 不取敢、午後八時頃青山御
 所ニ出頭仕候得者、既ニ御
 崩御之後ニ而、何とも恐入申
 候、
 伊勢ニ而、獵師ノ射留タル山猪持
 帰候付、少ナカラ差出候間、御笑味
 被下候得者、難有奉存候、敬具、
 一月十三日 巖
 黒田伯閣下

(18.0×43.5)

十八 大山巖書簡（黒田清隆文書一三三七）

御壯榮被成御座候条奉敬
 賀候、さて小生儀此内分
 伊勢地方へ遊獵ニ出掛
 ケ居候処、一昨夜
 后太皇宮陛下之御病氣ヲ
 承り、俄ニ帰京仕候、然ル処
 不取敢、午後八時頃青山御
 所ニ出頭仕候得者、既ニ御
 崩御之後ニ而、何とも恐入申
 候、
 伊勢ニ而、獵師ノ射留タル山猪持
 帰候付、少ナカラ差出候間、御笑味
 被下候得者、難有奉存候、敬具、
 一月十三日 巖
 黒田伯閣下

今月一日上海出発、昨日天津着、明朝李鴻章面会相済候上三日位滞津、陸路北京江參候積、日本在留支那公使未夕北京ニ有之由候付、彼地面会仕り可申、領事ハ未夕拜命無之由、副島此地にて緩々面会、様子を見るニ格別主意無之、専ら詩文を以漫遊、李鴻章之対談中官員之人物品評位之事にて餘ハ台島之挙詰問を受ケタル様子、

(16.0×82.0)

十九 森有礼書簡（寺島宗則文書一四九）

是より上海江引返南方遊歴之積相見へ申、北京行寒氣之為見合相成候由、熊本驩立、前原党百五十名脱走之御電報上海出船之当夜相達シ、其後之御報頻々相待申候、英公使威氏二三日中歸路之由、右者今晚船便有之、匆々短紙如此、恐々頓首、

九年十一月七日 天津 有礼
 寺島様
 鯨島様

二十 寺島宗則書簡（中井弘文書一・二九九）

有禮在首、御
 曰、人向、氣不、得
 看、能、所、也、如、此、決
 病、即、不、節、不、人
 比、為、中、親、族、共
 者、不、及、申、親、族、共、
 憾、相、覺、候、得、共、不、得
 已、次、第、共、一、同、へ、相、悟
 候、処、今、更、異、儀
 不、申、立、候、趣、申、出、候、
 右、先、方、へ、可、然、御、通
 可、被、下、候、每、御、配、神
 謝、言、難、尽、候、
 頓、首、
 寺、島、宗、則
 正、月、十、九、日
 中、井、弘、殿
 中、井、弘、殿

(19.5×62.5)

拜読仕候、別紙郷
 田氏合まさ義不縁
 二 付離別被成度
 趣致承知候、本人
 者 不及申、親族共二
 於而 引取候義、大遺
 憾相覚候得共、不得
 已次第共一同へ相悟
 候処、今更異儀
 不申立候趣申出候、
 右先方へ可然御通
 可被下候、每御配神
 謝言難尽候、
 頓首、
 寺島宗則
 正月十九日
 中井弘殿

番号	資 料 名	数量	摘 要	年 代	大 き さ	受入年・方法	台帳番号
1	岡元家文書関東下知状	1		文永4年 6月16日	34.0×43.5	47.購	105-37
2	〃 関東下知状案	〃		〃	24.0×18.0	〃	〃-40
3	〃 関東下知状	〃		正応元年 6月27日	35.0×57.0	〃	〃-1
4	〃 関東下知状案	〃		〃	35.0×40.0	〃	〃-4
5	〃 〃	〃		〃	24.5×85.3	〃	〃-39
6	〃 渋谷明重後家尼寿阿置文案	〃		〃 10月	35.0×42.0	〃	〃-6-1
7	〃 〃	〃		弘安10年 1月21日	〃	〃	〃-6-2
8	〃 渋谷重村著到状	〃		正応3年 4月21日	35.0×48.0	〃	〃-2
9	〃 〃	〃		〃	35.0×40.0	〃	〃-3
10	〃 関東裁許状案	〃		正応4年 8月28日	〃	〃	〃-5
11	〃 関東下知状	〃		乾元元年 12月23日	35.0×56.0	〃	〃-8
12	〃 平氏女連署和与状	〃		徳治3年 正月 日	35.0×51.0	〃	〃-9
13	〃 渋谷重口寄進状	〃		延慶2年 12月29日	35.0×54.0	〃	〃-12
14	〃 渋谷重世讓状案	〃		元応2年 12月20日	35.0×53.0	〃	〃-7
15	〃 六波羅御教書	〃	安東二郎兵衛入道宛 渋谷平六	元亨2年 3月9日	35.0×46.0	〃	〃-10
16	〃 渋谷静重讓状	〃		〃 8月18日	〃	〃	〃-14
17	〃 六波羅御教書	〃	渋谷平六宛	正中2年 3月23日	35.0×51.0	〃	〃-11
18	〃 渋谷重頼外四名連署紛失証状	〃		正慶元年 8月 日	35.0×48.0	〃	〃-13
19	〃 後醍醐天皇諭旨	〃		元弘3年 11月9日	33.0×51.5	57.贈	2.367
20	〃 〃	〃		〃	33.5×50.0	〃	2.368
21	〃 〃	〃		〃	32.8×50.5	〃	2.369
22	〃 渋谷典重軍忠状	〃		〃 8月 日	35.0×41.0	47.購	105-15
23	〃 雑訴決断所牒	〃		建武元年 6月3日	35.0×44.0	〃	〃-16
24	〃 〃	〃		〃 10月8日	35.0×34.0	〃	〃-17
25	〃 渋谷定円(重基)外六名連署和与状	〃		〃 12月19日	35.0×65.0	〃	〃-18
26	〃 雑訴決断所牒案	〃		建武2年 5月7日	35.0×37.0	〃	〃-21
27	〃 足利尊氏感状	〃		建武3年 9月3日	35.0×31.0	〃	〃-19
28	〃 足利尊氏袖御判下文案	〃		〃 4月2日	35.0×43.0	〃	〃-20-1
29	〃 將軍家執事高師直施行状案	〃	宮内少輔太郎入道宛	建武4年 7月13日	〃	〃	〃-20-2
30	〃 渋谷宗貞(重棟)同日一筆讓状	〃		康永3年 2月3日	35.0×40.0	〃	〃-22
31	〃 〃	〃		〃	35.0×44.0	〃	〃-23
32	〃 渋谷重興軍忠状	〃		康永4年 9月3日	32.3×41.5	57.贈	2.370
33	〃 沙弥定円(重基)外二名連署讓状	〃		貞和3年 3月6日	30.5×42.0	〃	2.371
34	〃 渋谷重興軍忠状	〃		〃	29.5×49.5	〃	2.372
35	〃 鎮西御教書	〃	渋谷九郎宛	貞和4年 2月9日	35.0×38.0	47.購	105-24
36	〃 一色直氏奉書	〃	〃	〃 8月17日	35.0×40.0	〃	〃-25
37	〃 足利直冬軍勢催促状	〃	〃	貞和6年 11月30日	16.0×20.5	〃	〃-26
38	〃 渋谷重興著到状	〃		貞和7年 卯月 日	30.5×39.0	〃	〃-27

番号	資料名	数量	摘要	年代	大きさ	受入年・方法	台帳番号
1	税所家年譜一	1			26.0×19.5	45.購	25-1
2	◇ 二	◇			◇	◇	◇-2
3	◇ 三	◇			◇	◇	◇-3
4	島津公仰出万留一	◇			◇	◇	◇-4
5	◇ 二	◇			◇	◇	◇-5
6	◇ 三	◇			◇	◇	◇-6
7	島津久光公御上京日記	◇			19.0×27.0	◇	◇-7
8	御上京御供に付万留	◇		文久3年 8月16日	◇	◇	◇-8
9	◇	◇		◇ ◇	◇	◇	◇-9
10	異国船室島来泊一件	◇			26.0×16.0	◇	◇-10
11	税所家要事控	◇			28.0×19.0	◇	◇-11
12	勤要記事	◇		明治9年 2月	13.5×20.0	◇	◇-12
13	島津公系図	◇			15.5×6.5	◇	◇-13
14	刀工関係文書	50			28.0×48.0	52.購	862
15	寺田屋騒動一件記録一	1		文久2年3月初旬 5月1日	28.0×20.0	59.購	2,664
16	◇ 二	◇		文久2年 5月3日一	◇	◇	2,665
17	日州耳川合戦日帳	◇			27.5×20.3	57.贈	2,046
18	高麗入記録	◇		万治2年 8月27日	26.0×19.0	56.贈	1,914
19	太坂合戦記写	◇				51.贈	733
20	桜島焰上記	◇	元支考著	安永9年	24.0×400.0	56.贈	1,913
21	朝鮮軍記	◇		文久2年	17.0×24.0	51.購	740
22	止宿村方江申渡書	◇			25.0×17.0	49.贈	202
23	薩英戦争経過報告書(コピー)	◇	キューパー提督		35.5×25.0	46.贈	82
24	喜入撰津書状	◇	薩英戦争		16.5×45.0	48.贈	142
25	薩英戦争関係諸達名簿	◇		文久3年 3月	17.5×275.0	◇	143
26	西郷流謫碑拓本	◇	勝海舟筆		250.0×88.0	47.贈	104
27	陸軍諸法度條々	◇		慶応4年	36.0×380.0	50.購	708
28	花尾権現宮記録	◇			29.0×283.0	51.贈	717
29	花尾山記	◇			25.8×18.5	◇	718
30	花尾権現御祭り之事	◇	貴島基右衛門	享保13年	27.0×20.0	◇	720
31	止上宮諸書付帳	◇	川越清左衛門実明等筆	元文4年	28.0×20.5	◇	737
32	宗旨手形	◇		寛保元年	28.3×42.0	53.贈	998
33	◇	◇		◇ 9月	28.5×33.0	54.贈	1,145
34	◇	◇		明和3年 9月	28.0×39.0	53.贈	999
35	寄講下し文(コピー)	◇		文政13年 9月	26.0×36.0	56.贈	1,488
36	東郷重尚弓哥秘書	◇	喜入丹波守宛	元和6年 12月6日	16.5×182.0	55.贈	1,204
37	◇ 日置流弓目録	◇	◇	◇ 12月吉日	16.5×255.0	◇	1,205
38	川上久晴兵法三略	◇	喜入勝兵衛宛	慶安元年 9月吉日	17.0×118.0	◇	1,206

番号	資 料 名	数量	摘 要	年 代	大 き さ	受入年・方法	台帳番号
39	平田宗増日置流弓目録	1	有馬新右衛門宛	寛文7年 9月吉日	21.2×283.0	55.贈	1,207
40	東郷重利示現聞書譬喩	〃	〃	〃 8月吉日	16.5×350.0	〃	1,208
41	〃 日置流弓目録	〃	平田宗増宛	寛文8年 3月吉日	17.3×550.0	〃	1,209
42	園田与藤次成芳十二病門	〃	前田蔵右衛門宛	享保5年 4月18日	27.0×130.0	〃	1,162
43	東郷藤兵衛実満示現流燕飛之次第	〃	前田彦右衛門宛	享保17年 7月吉日	20.0×270.0	〃	1,159
44	梅田盛庸本心鏡智流鍵鎗曲尺合	〃	染川源左衛門宛	延享2年 正月吉日	18.0×130.0	〃	1,210
45	〃 〃	〃	〃	〃 〃	18.0×350.0	〃	1,211
46	梅田盛香本心鏡智流鍵鎗曲尺合	〃	川上四郎左衛門宛	明和6年 〃	19.0×600.0	〃	1,212
47	梅田九左衛門盛香本心鏡智流鍵鎗曲尺合	〃	山口幸右衛門宛	明和8年 4月吉日	20.0×470.0	〃	1,160
48	梅田成香本心鏡智流極位高上馬上鎗	〃	喜入佐司右衛門宛	天明8年 2月吉日	18.5×360.0	〃	1,213
49	〃 本心鏡智流鍵目録	〃	〃	〃 〃	17.8×150.0	〃	1,214
50	〃 本心鏡智流鍵目録	〃	〃	〃 〃	18.0×140.0	〃	1,215
51	〃 本心鏡智流鍵目録	〃	〃	〃 〃	17.8×80.0	〃	1,216
52	〃 本心鏡智流馬上之鎗	〃	〃	〃 〃	18.5×130.0	〃	1,217
53	〃 本心鏡智流鍵鎗目録	〃	〃	〃 〃	18.0×127.0	〃	1,218
54	東郷実徳日置流弓目録	〃	〃	文政2年 3月吉日	17.8×182.0	〃	1,219
55	梅田九左衛門明教本心鏡智流鍵鎗	〃	前田強左衛門宛	文政6年 9月吉日	20.5×800.0	〃	1,161
56	有村俊斎神人流長刀表心伝書	〃	〃	嘉永2年 正月吉日	19.3×188.0	〃	1,311
57	示現流	2			9.3×16.5	57.購	2,045
58	太刀合難刀秘伝書	1			27.0×185.0	55.贈	1,313
59	真早行	〃			12.3×140.0	〃	1,223
60	神道射術書	〃			11.7×118.0	〃	1,222
61	神当流音捨之卷	〃			17.8×270.0	〃	1,220
62	大坪流手綱秘伝	〃			12.2×50.0	〃	1,221
63	御流競馬書	7			22.0×326.0	51.贈	799
64	武器袖鏡	1		天保14年 癸卯4月	8.0×18.5	56.贈	1,499
65	六韜	〃		万延元年 11月	17.5×12.0	57.贈	2,237
66	御成敗式目写	〃		寛文13年 5月	26.0×19.0	53.贈	979
67	児童教訓	〃		天保15年 2月22,23日	27.0×19.0	51.購	741
68	泰西勸善訓蒙統篇	〃		元治元年	22.0×14.5	57.贈	2,238
69	正気歌俗解	〃	春山樓歳梓	慶応3年	22.3×15.4	〃	2,239
70	大学寮再興言上案	〃		慶応4年		50.購	709
71	大石兵六夢物語	〃		天明4年 11月	27.0×20.0	51.購	730
72	雜俳集	〃			19.5×26.5	53.贈	995
73	辞書	〃		享和元年	25.5×18.0	55.贈	290
74	葉徴	〃	東洞吉益著	文化9年	〃	〃	292
75	子玄子産論	〃	賀川子啓著	明和2年	〃	〃	291
76	統皇朝百家論文鈔	〃			23.0×15.6	56.贈	2,024

番号	資 料 名	数量	摘 要	年 代	大 き さ	受入年・方法	台帳番号
77	浦手形	1	三四郎宛	寛政10年	32.5×850.0	51.購	738
78	浦文書	41			27.0×39.0	53.贈	1,020
79	大工鑑札	1			15.0×7.5	50.贈	710
80	縄皮帳	〃		元禄12年 2月13日	28.0×20.5	53.贈	977
81	厚地村境御縄引帳留	〃		明和3年 3月11日	27.0×19.5	51.購	721
82	郡山厚地村花尾境内境縄引帳	〃		明和7年 4月15日	29.0×21.0	〃	722
83	証文	〃	大乘院宛	延宝8年 3月24日	40.0×92.0	〃	727
84	厚地村境巻巻帳	〃		安永4年 6月	28.6×20.5	〃	723
85	仰波留	〃	串木野郡見廻	安永8年	25.0×19.0	54.贈	1,141
86	内山田村抱地模合銀借付帳並利銭取揃帳	150		文化9年一 昭和26年	33.0×12.0	〃	1,106
87	川辺平山村御檢地名寄帳	1		享保11年	28.0×20.0	〃	1,092
88	横川下之村海老ヶ迫門名寄帳	〃		宝暦8年 4月19日	26.0×19.0	57.贈	2,331
89	知行名寄高帳	〃			20.0×27.5	45.贈	3
90	知行名寄帳	〃	知覧	文化13年 12月	20.0×27.5	51.購	739
91	武者踊之狂歌並土踊拍子附	〃	三宅善藏筆	嘉永元年 5月	27.0×19.0	〃	743
92	縄引帳	〃		天明元年 5月	28.0×20.5	53.贈	976
93	知行高名寄帳	〃		文政8年 6月1日	26.5×19.3	56.贈	1,652
94	古書付	〃			26.5×20.0	57.贈	2,047
95	阿部豊後守正次・酒井雅楽頭連署状	〃		寛永年間 12月6日	20.5×88.3	〃	2,322
96	平田可竹遺墨			享保3年 2月	30.5×13.4	52.贈	882
97	万留	〃		宝永3年	28.0×21.0	55.贈	1,332
98	万銭取替覚留帳	〃		天保6年 8月吉日	〃	〃	1,333
99	万銭借付帳	〃		天保6年	〃	〃	1,334
100	牛馬改帳	〃	穎娃別府村	安政3年	27.5×20.0	54.贈	1,135
101	〃	〃	十町村 御領村	〃	28.0×21.0	55.贈	1,338
102	諸作職仕付覚	〃		慶応2年	32.0×12.0	〃	1,335
103	万銭枳粟取替覚留帳	〃		慶応3年 正月	18.0×14.0	〃	1,336
104	日帳	〃		亥・子・丑年	28.0×21.0	〃	1,337
105	手紙往来	〃			27.0×20.0	〃	1,340
106	平尚成書状	〃			35.0×42.0	〃	1,339
107	末吉門五兵衛書物	〃		文政12年 5月18日	27.0×34.0	54.贈	1,136-1
108	飯伏門早右衛門書物	〃		〃 11月2日	27.0×34.0	〃	〃 -2
109	小耳原門中書物	〃		文政13年 正月20日	26.0×26.0	〃	〃 -3
110	中島次郎右衛門書物	〃		〃 5月19日	24.0×32.0	〃	〃 -4
111	中島次郎右衛門証文	〃		天保2年 3月5日	27.0×39.0	〃	〃 -5
112	〃	〃		〃 7月29日	26.0×32.0	〃	〃 -6
113	高吉屋敷佐兵衛証文	〃		天保3年 6月	26.0×21.0	〃	〃 -7
114	高吉屋敷新右衛門書物	〃		〃 7月26日	26.0×36.0	〃	〃 -8

番号	資 料 名	数量	摘 要	年 代	大 き さ	受入年・方法	台帳番号
115	末吉屋敷吉左衛門書物	1		天保3年 閏11月10日	26.0×39.0	54.贈	1,136-9
116	中島良八書物	◇		◇ 閏11月12日	26.0×29.0	◇	◇ -10
117	岡元ノ吉左衛門書物	◇		◇ 12月23日	26.0×36.0	◇	◇ -11
118	高吉門佐兵衛証文	◇		天保4年 5月29日	26.0×32.0	◇	◇ -12
119	高吉門庄五郎証文	◇		◇ ◇	24.0×32.0	◇	◇ -13
120	高吉門新右衛門証文	◇		◇ ◇	◇	◇	◇ -14
121	◇	◇		◇ ◇	24.0×34.0	◇	◇ -15
122	高吉ノ甚之十書物	◇		◇ 7月8日	27.0×39.0	◇	◇ -16
123	西青戸門休四郎証文	◇		天保6年 10月13日	24.0×36.0	◇	◇ -17
124	郡村楠平門八郎書物	◇		天保7年 11月10日	26.0×28.0	◇	◇ -18
125	町之三郎書物	◇		天保15年 5月25日	26.0×24.0	◇	◇ -19
126	吉元門次太郎書物	◇		弘化2年 10月13日	26.0×38.0	◇	◇ -20
127	松永ノ吉左衛門書物	◇		卯7月28日	26.0×39.0	◇	◇ -21
128	小耳原門権右衛門書物	◇		巳3月7日	26.0×39.0	◇	◇ -22
129	高吉ノ休右衛門書物	◇		7月26日	23.0×32.0	◇	◇ -23
130	平田文書書状	◇		正月17日	30.0×41.0	◇	1,133-1
131	◇ 留	◇	平田二兵衛宛	◇	25.0×26.0	◇	◇ -2
132	◇ 口上覚	◇		子4月6日	17.0×28.0	◇	◇ -3
133	◇ 吉利主馬達書	◇	平田藤右衛門宛	3月22日	14.0×34.0	◇	◇ -4
134	◇ 口上覚	◇		寅2月	◇	◇	◇ -5
135	◇ 願書	◇		2月18日	17.0×26.0	◇	◇ -6
136	◇ 鎌田藏人達書	◇	平田藤右衛門宛	6月19日	42.0×56.0	◇	◇ -7
137	◇ 覚	◇		9月	28.0×53.0	◇	◇ -8
138	◇ 祠堂金証文之事	◇	中村与太夫宛	宝暦4年	31.0×42.0	◇	◇ -9
139	◇ 中村与太夫書物	◇	平田喜藤次宛	延享5年	30.0×45.0	◇	◇ -10
140	◇ 中村与太夫覚	◇	◇	寛延4年	19.0×35.0	◇	◇ -11
141	◇ 書状	◇	藤右衛門宛	2月6日	14.0×43.0	◇	◇ -12
142	◇ 日記	◇		10月3日	16.0×26.0	◇	◇ -13
143	◇ 日記	◇			14.0×10.0	◇	◇ -14
144	◇ 御染毫	◇			12.0×10.0	◇	◇ -15
145	◇ 達書	◇			14.0×9.5	◇	◇ -16
146	◇ 達書	◇		10月21日	18.0×24.0	◇	◇ -17
147	◇ 書状	◇	平田次郎兵衛宛		27.0×41.0	◇	◇ -18
148	◇ 書状	◇		4月9日	15.5×34.5	◇	◇ -19
149	◇ 控書	◇			15.0×24.0	◇	◇ -20
150	◇ 主殿写	◇		正月	14.0×19.0	◇	◇ -21
151	◇ 口上覚	◇	瀧間宗良	宝永4年	27.0×38.0	◇	◇ -22
152	◇ 辞令	◇	内藏清胤	文政9年	16.5×75.0	◇	◇ -23

番号	資 料 名	数量	摘 要	年 代	大 き さ	受入年・方法	台帳番号
153	平田文書辞令	1	平田藤右衛門久馬	文政13年	16.3×52.5	54.贈	1,133-24
154	◇ 口上覚	◇	平田藤右衛門	寅2月	19.0×27.0	◇	◇ -25
155	◇ 達書	◇	平田藤五郎	10月	14.0×34.0	◇	◇ -26
156	◇ 書状	◇	平田藤右衛門宛	亥8月18日	18.5×22.5	◇	◇ -27
157	◇ 留	◇	平田監物宛	正月16日	26.0×38.0	◇	◇ -28
158	◇ 書物	◇	平田監物・藤右衛門 民部左衛門・伝兵衛	寛文9年	25.5×32.0	◇	◇ -29
159	◇ 覚	◇	平田監物宛	◇	30.0×45.0	◇	◇ -30
160	◇ 覚	◇	御記録所	12月13日	14.0×17.0	◇	◇ -31
161	◇ 新納少右衛門除証文留	◇	毛野五次右衛門親類宛	寛延2年	27.0×29.0	◇	◇ -32
162	◇ 覚	◇	藤右衛門	2月30日	17.0×30.0	◇	◇ -33
163	◇ 毛利覚書	◇	平田宛	巳3月24日	26.5×38.0	◇	◇ -34
164	◇ 写	◇			30.0×40.0	◇	◇ -35
165	◇ 河野六兵衛覚書	◇	平田藤右衛門宛	寛文12年	28.0×40.0	◇	◇ -36
166	◇ 書状	◇			16.0×34.0	◇	◇ -37
167	◇ 本田孫九郎書状	◇	平田藤右衛門宛	寅2月20日	14.0×47.0	◇	◇ -38
168	◇ 法名控	◇		戌9月12日	27.5×16.0	◇	◇ -39
169	◇ 石原庄太夫達書	◇	平田藤右衛門宛	4月21日	14.0×31.0	◇	◇ -40
170	◇ 覚	◇	平田五次右衛門	酉12月5日	25.0×34.0	◇	◇ -41
171	◇ 中村与太夫除証文	◇	伊勢弥八郎宛	寛延3年 9月24日	27.0×29.0	◇	◇ -42
172	◇ 平田大右衛門宗徳書状	◇	平田藤右衛門宛	寛文10年	28.0×26.0	◇	◇ -43
173	◇ 竹下安右衛門目録	◇		宝永2年	28.0×20.0	◇	◇ -44
174	◇ 平田美濃入道書状	◇	瀧岡越後守宛	10月28日	24.5×38.0	◇	◇ -45
175	◇ 平田美濃入道書状写	◇	◇	◇	28.0×40.0	◇	◇ -46
176	◇ 系図写	4		永禄4年~	27.5×38.0	◇	◇ -47
177	◇ 島津家系図写	1			27.5×174.0	◇	◇ -48
178	◇ 断簡	◇			16.5×8.0	◇	◇ -49
179	重富境引渡に付諸役々印形帳	◇		元文4年 10月3日	29.0×42.0	57.贈	2,198
180	重富御一所領御給之御判物相付候一卷帳	◇		◇ 10月18日	26.5×19.8	◇	2,199
181	四元次左衛門(忠紀抱守)外3名連署状	◇		子3月6日	14.2×645.0	◇	2,200
182	覚書	◇		10月	14.0×115.0	◇	2,201
183	重富方境定書付扣	◇		8月	14.5×23.7	◇	2,202
184	重富御一所領地図	◇		元文4年 10月	57.0×82.0	◇	2,203
185	町田七右衛門覚書	◇	御納戸・記録方宛	寛延3年 10月7日	15.0×83.5	◇	2,204
186	吉田高牧野御牧内絵図	◇			58.5×50.3	◇	2,205
187	伊集院半五右衛門覚書	◇	重富役人宛	午9月22日	28.5×66.5	◇	2,206
188	重富高牧野御馬并御牧地面御引渡相済候首尾書	◇		寛延3年 9月25日	27.0×20.2	◇	2,207
189	異国方心得御渡	◇	重富役人宛	寛政6年 2月8日	28.5×96.6	◇	2,208
190	脇元絵図	◇			40.0×56.6	◇	2,209

番号	資 料 名	数量	摘 要	年 代	大 き さ	受入年・方法	台帳番号
191	島津主鈴久品（継豊家老）申渡書写	1	山沢十太夫宛	5月	14.2×45.5	57.贈	2,210
192	伊勢兵部貞起（継豊家老）申渡書写	＊		10月	14.5×29.0	＊	2,211
193	海江田半蔵添書	＊	山沢十太夫宛	5月18日	14.5×32.5	＊	2,212
194	梅本盛（垂水留守居）答書	＊	菅谷長右衛門宛	3月23日	17.3×26.7	＊	2,213
195	達書	＊	抱守宛	未12月25日	17.7×199.0	＊	2,214
196	吉田用右衛門書状	＊	有馬鹿角宛	10月2日	17.8×68.0	＊	2,215
197	越前島津家重物扣	＊			17.7×211.0	＊	2,216
198	島津周防忠紀口上覚	＊		2月15日	19.3×33.0	＊	2,217
199	紋所絵形	＊			14.8×13.0	＊	2,218
200	播磨申渡書	＊		寛政6年 5月25日	14.3×56.5	＊	2,219
201	後藤要人（社司）覚書	＊		申 閏12月11日	26.5×38.2	＊	2,220
202	本田新七添書	＊	有馬鹿之助宛	＊ 12月13日	17.0×11.0	＊	2,221
203	岩剣社頭棟札并神前飾道具書出帳	＊		明和元年 12月11日	26.0×20.0	＊	2,222
204	岩剣宮造替棟札写	＊		延享2年 12月	72.5×20.0	＊	2,223
205	円明院雄鸞（岩剣社別当）証文写	＊		12月7日	17.7×85.5	＊	2,224
206	紹隆寺覚阿覚書	＊	本田新七宛	12月7日	17.0×29.5	＊	2,225
207	円球万国地海全図	＊	石塚崔高筆	享和2年 (1802)	113.5×208.0	63購	6,946
208	和蘭告密書和解，合衆国書簡和解， 諸家存念上書并土州漁人亜墨利加帰国咄	＊	三好某写	安政5年秋	20.0×17.0	＊	2,227
209	下菌家文書	94			26.0×40.0	54.贈	1,093
210	島津貴久書簡	1		2月10日	24.5×42.0	49.購	254
211	島津家久書状	＊	いわむもし宛	12日	31.6×46.5	58.購	2,600
212	＊	＊	たん正とのむもし（家久 女）宛	7月22日	31.6×46.0	＊	2,601
213	＊	＊	むもし宛	3月3日	32.0×45.4	＊	2,602
214	＊	＊	たんむもし宛	20日	30.4×47.0	＊	2,603
215	＊	＊	たんしゃうむもし宛	6月6日	32.2×46.0	＊	2,604
216	＊	＊	たん正とのむもし宛	6月11日	33.0×48.0	＊	2,605
217	＊	＊	＊	12月7日	35.6×53.4	＊	2,606
218	＊	＊	＊	4月18日	32.0×45.9	＊	2,607
219	＊	＊	たんむもし宛	11月20日	34.0×48.2	＊	2,608
220	＊	＊	むもし宛		32.0×43.5	＊	2,609
221	＊	＊	たんむもし宛		31.7×43.4	＊	2,610
222	＊	＊	たん正とのむもし宛	4月3日	33.0×49.3	＊	2,611
223	＊	＊	＊	4月21日	36.0×53.0	＊	2,612
224	＊	＊	いわむもし宛	5月2日	31.4×46.0	＊	2,613
225	＊	＊	さうたいむもし宛	5月10日	33.0×45.5	＊	2,614
226	＊	＊	たん正むもし宛	5月8日	33.4×45.7	＊	2,615
227	＊	＊	たんしょうとのむもし宛	5月13日	36.0×54.0	＊	2,616
228	＊	＊	たん正とのむもし宛	11月3日	37.0×53.0	＊	2,617

番号	資 料 名	数量	摘 要	年 代	大 き さ	受入年・方法	台帳番号
229	島津家久書状	1	たん正とのむもし宛	6月18日	34.2×48.3	58.購	2,618
230	〃	〃	いわむもし宛	寛永8年 6月27日	33.2×28.5	〃	2,619
231	〃	〃	たん正とのむもし宛	8月24日	31.4×45.5	〃	2,620
232	〃	〃	〃	10月14日	32.0×45.0	〃	2,621
233	〃	〃	〃	10月24日	32.0×46.0	〃	2,622
234	〃	〃	〃	11月3日	36.4×51.5	〃	2,623
235	〃	〃	〃	3月7日	34.0×48.7	〃	2,624
236	〃	〃	いわむもし宛	3月28日	34.6×47.8	〃	2,625
237	〃	〃	むもし宛	3月8日	37.0×51.5	〃	2,626
238	〃	〃	たん正とのむもし宛		30.5×42.5	〃	2,627
239	大隠居様御筆仰出箇条書	〃		文化10年 9月	27.0×20.0	51.購	872
240	鯨島白鶴書状	〃	八田知紀宛		20.0×181.5	55.購	1,170
241	知行高名寄帳	〃	津曲伊右衛門	文政8年 6月1日	26.5×19.3	56.贈	1,653-1
242	瀬崎・さき書状	〃	おこと外宛		38.0×52.0	〃	〃 -2
243	瀬崎書状	〃	亀崎宛		32.5×45.7	〃	〃 -3
244	〃	〃	〃		32.1×45.8	〃	〃 -4
245	〃	〃	〃		33.2×46.3	〃	〃 -5
246	〃	〃	〃		32.5×45.7	〃	〃 -6
247	岡の書状	〃	瀬崎宛		32.7×43.6	〃	〃 -7
248	〃	〃	〃		32.7×42.4	〃	〃 -8
249	藤多・梅の書状	〃	〃	戊11月3日	32.2×45.5	〃	〃 -9
250	誠思院書状	〃	〃		32.9×43.6	〃	〃 -10
251	ふき書状	〃	〃		32.3×46.1	〃	〃 -11
252	るり書状	〃	〃		32.2×46.8	〃	〃 -12
253	永せ書状	〃	〃		32.9×43.5	〃	〃 -13
254	野津源藏書状	〃	〃	閏7月26日	17.5×115.0	〃	〃 -14
255	北かう内記書状	〃	〃		38.1×53.0	〃	〃 -15
256	〃	〃	〃		38.0×52.7	〃	〃 -16
257	いちた長門書状	〃	〃		33.3×47.3	〃	〃 -17
258	八越書状	〃	瀬崎・おきさ宛		32.8×46.5	〃	〃 -18
259	喜八郎書状	〃	姉宛	7月2日	16.2×176.0	〃	〃 -19
260	杉の外書状	〃	千代の浦・瀬崎宛		40.5×55.7	〃	〃 -20
261	書状	〃			33.2×47.5	〃	〃 -21
262	〃	〃			32.3×46.2	〃	〃 -22
263	八兵衛書状	〃	梅本寛右衛門宛		16.0×110.0	58.贈	2,589
264	書付	〃			18.0×60.0	〃	2,590
265	竹姫君様御入奥留・規式	2		享保14年	28.5×19.5	56.購	1,793
266	村田新八書状	1	高橋新助宛	4月19日	16.0×95.0	54.購	1,108-1

番号	資 料 名	数量	摘 要	年 代	大 き さ	受入年・方法	台帳番号
267	村田新八書状	1	兄宛	7月8日	16.5×94.0	54.購	1,108-2
268	〃	〃	〃	5月15日	14.5×27.0	〃	〃-3
269	〃	〃			16.5×27.0	〃	〃-4
270	〃	〃	兄・十熊宛	7月23日	17.0×51.0	〃	〃-5
271	〃	〃	兄・姉・おば宛	閏月15日	15.0×102.0	〃	〃-6
272	〃	〃	兄・宿元宛	6月19日	14.0×98.0	〃	〃-7
273	〃	〃	兄・姉・十熊宛	8月10日	20.0×58.0	〃	〃-8
274	〃	〃		8月22日	16.0×29.0	〃	〃-9
275	〃	〃	兄宛	9月7日	17.5×93.0	〃	〃-10
276	〃	〃	兄・十熊宛	9月16日	17.5×51.0	〃	〃-11
277	〃	〃		8月29日	18.5×42.0	〃	〃-12
278	〃	〃	兄・十熊宛	9月23日	16.5×131.0	〃	〃-13
279	〃	〃	兄宛	9月27日	17.0×105.0	〃	〃-14
280	村田十蔵書状	〃	母宛	11月11日	15.5×26.0	〃	〃-15
281	村田新八書状	〃	高橋新助宛	10月4日	17.5×123.0	〃	〃-16
282	〃	〃	〃	亥2月1日	17.0×136.0	〃	〃-17
283	〃	〃	兄宛	亥4月28日	16.5×128.0	〃	〃-18
284	〃	〃	永春丸船頭宛	亥6月14日	18.0×16.5	〃	〃-19
285	〃	〃	兄宛	亥7月1日	16.5×75.0	〃	〃-20
286	〃	〃	〃	亥水無月14日	16.5×32.0	〃	〃-21
287	〃	〃	〃	3月3日	17.0×88.0	〃	〃-22
288	村田十蔵書状	〃	高橋新助宛	4月5日	16.0×134.0	〃	〃-23
289	村田新八書状	〃	兄宛	子1月1日	16.0×116.0	〃	〃-24
290	〃	〃	〃	2月9日	16.0×72.0	〃	〃-25
291	〃	〃	父・兄宛	7月2日	17.0×110.0	〃	〃-26
292	〃	〃	高橋新助・あね・しな宛	戊7月9日	16.5×216.0	〃	〃-27
293	宇留満の日記	〃		壬戌水無月	13.5×228.0	〃	〃-28
294	村田新八書状	〃	高橋新助宛	亥正月26日	16.5×214.0	〃	〃-29
295	村田新八書状写	〃	兄宛	9月16日	17.0×51.0	〃	〃-30
296	武者小路徹山公筆跡	〃			16.0×136.0	49.購	258
297	虎狩絵巻	〃		文禄4年 3月	46.5×1,842.5	59.購	2,787
298	濃州関ヶ原合戦図	〃			78.0×75.0	54.購	1,107
299	大坂冬の陣・夏の陣関係絵図 難波戦場両軍備之図冬陣	〃			78.0×54.0	59.贈	2,682-1
300	〃 難波戦場両軍備之図夏陣	〃		元和元年 5月6日	107.0×78.0	〃	〃-2
301	〃 大坂御城御殿之図	〃			51.3×39.2	〃	〃-3
302	〃 大坂御城之図	〃			78.5×81.5	〃	〃-4
303	大乗院領花尾山境内絵図	〃		延宝8年	167.0×92.0		728
304	薩州様御登城初御目見得絵図	〃			91.0×66.0	50.購	711

番号	資 料 名	数量	摘 要	年 代	大 き さ	受入年・方法	台帳番号
305	大坂城絵 (コピー) (モンタナスの日本誌掲載)	1			25.5×36.0	48.贈	178
306	長崎港絵 () ()	◇			◇	◇	179
307	奈良の大仏絵 () ()	◇			25.5×36.0	◇	180
308	鹿児島港に関する説明 () ()	3			42.0×28.0	◇	181
309	鹿児島港の図 () ()	1			25.5×36.0	◇	182
310	鹿児島絵図 新橋ヨリ立馬場通韃韃碓迄	◇		文政前後	134.0×223.0	59.贈	2,681-1
311	吉野橋ヨリ下川内池之平迄	◇		◇	136.0×188.0	◇	◇ - 2
312	武橋高麗町橋ヨリ武三尾崎錦崎御屋敷芝立松迄	◇		◇	175.0×167.0	◇	◇ - 3
313	西田橋新上橋戸木馬場ヨリ常盤寿国寺迄	◇		◇	132.0×190.0	◇	◇ - 4
314	小松屋敷・市来屋敷見取図	◇			77.0×162.0	◇	2,683
315	表装関係文書	◇	藤井稚君	天保13年	27.0×37.8	56.贈	1,457
316	島津家久短冊	◇			37.0× 6.0	49.購	256
317	桂菴和尚家法倭點	◇		寛永元年	28.0×19.0	51.贈	771
318	薩藩本田家記文書及系譜	3			26.0×19.0	52.購	920
319	南浦文集	◇		慶安2年	28.0×20.0	53.購	981
320	故事因縁集	1		元禄2年	26.0×18.0	56.贈	1,470
321	保健大記打聞	◇		享保5年	26.0×18.5	◇	1,469
322	三国記	◇		寛保2年	26.0×19.0	◇	1,916
323	大光普照集	3		寛延2年 4月	24.0×17.0	55.贈	1,168
324	古文前集	1		宝暦12年	26.0×18.0	57.贈	2,029
325	異国奇談	◇	和莊兵衛	安永7年 9月	28.0×20.5	51.贈	792
326	三国擾乱記	4		安永10年	26.0×19.0	56.贈	1,917
327	成形図説 (農事部)	10		文化元年	27.5×19.0	55.購	1,198
328	縣孝孺の記 (上・下)	1		文化5年 秋	25.5×17.0	57.贈	2,048
329	南山俗語考	6		文化9年	23.0×16.0	52.購	956
330	悉曇摩多体文	1		天保4年 再版	27.2×7.3	53.贈	1,062
331	襲山考・襲山紀行	◇	伊知地季安	天保12年	19.0×14.0	54.購	1,112
332	四書集注 薩摩府学蔵版	10		弘化2年	25.0×18.0	56.贈	1,915
333	英雄拾遺百首	1		弘化5年	18.0×11.9	53.贈	1,065
334	古文孝経 薩摩府学蔵版	◇		嘉永3年	29.5×20.3	57.購	2,150
335	商売往来写本	◇		嘉永6年	25.8×19.0	53.贈	1,066
336	日本政記	8	頼山陽著	元治元年	25.0×18.0	56.贈	1,918
337	暎国歩兵練法	◇	赤松小三郎訳	慶応元年 仲夏	12.5×18.1	56.購	1,632
338	改正増補英和对訳袖珍辞書	1		慶応3年 江戸再版	16.0×21.5	52.贈	967
339	税所教子心尽日記写本	◇		慶応4年	27.0×20.0	55.贈	1,199
340	春秋胡氏伝	◇			28.0×1.0	◇	1,341
341	玉音後集	◇			18.0×12.0	◇	1,342
342	中庸章句	◇			25.3×18.0	◇	1,357

番号	資 料 名	数量	摘 要	年 代	大 き さ	受入年・方法	台帳番号
343	大学	1			25.6×18.0	55.贈	1,358
344	女実語教操鑑	◇			25.0×17.7	53.贈	1,067
345	後風土記英雄伝	◇			27.0×20.5	58.贈	2,535
346	琉球秘策題辞	◇	川村秀允著	嘉永3年	26.0×19.5	◇	2,572
347	日新菩薩記	2	泰円和尚著		◇	◇	2,591
348	藩翰譜島津伝弁誤	1	新井白石著		26.0×19.0	◇	2,592
349	三晩庵主談話	◇			26.0×19.0	◇	2,593
350	可竹日記抜書	◇			◇	◇	2,594
351	藩翰譜弁誤	◇		文化元年 12月	27.0×19.0	51.購	736
352	日新公いろは歌	◇			18.0×20.0	51.贈	793
353	本藩人物誌	10			27.5×20.0	51.購	829
354	鳩巢小説全	1			27.5×20.0	57.贈	2,049
355	豊臣秀吉諸国軍記 中之二	◇			26.3×18.0	53.贈	1,064
356	周易伝義	7			27.5×16.5	56.購	1,631
357	波平行安受領書	2			21.0×34.5	45.贈	1
358	御内意の覚 (弟子入門書)	1			17.5×38.0	◇	2
359	橋口壯助遺稿集	◇			26.0×17.5	46.贈	26
360	高橋氏旧蔵古文書	3			17.5×85.0	46.購	27
361	薩摩日置流弓道目録	1			19.5×390.0	49.購	255
362	花押写 (島津家)	◇			14.0×20.5	◇	257
363	廃寺之節花尾山江仰渡之写	◇		慶応4年 9月	27.0×20.0	51.購	719
364	鳥名便覧	◇	島津重豪編	文政13年 五春月	25.7×18.3	58.購	2,534
365	御厚恩記 (日置島津家)	◇			38.5×332.0	2.購	7,640
366	覚書 (島津龍伯)	◇			35.5×52.5	◇	7,641-1
367	島津久慶・島津久通連署状	◇	郡本妹外役人宛		35.5×53.0	◇	◇ -2
368	島津久慶書状	◇			40.0×44.5	◇	◇ -3
369	◇	◇			35.0×41.0	◇	◇ -4
370	島津久慶・島津久国追悼和歌	◇			30.5×83.0	◇	◇ -5
371	沙門覚因・藤原忠通・源元綱連歌	◇			37.0×51.7	◇	◇ -6
372	島津久慶・島津義弘追悼和歌 (二十五年忌)	◇		寛永20年 7月21日	36.0×99.5	◇	◇ -7
373	知行高宛行状	◇		亥8年 閏8月10日	38.0×49.5	60.贈	2,989
374	◇	◇		正徳2年 12月28日	37.0×49.5	◇	2,990
375	原城へ御供覚	◇		寛永15年	24.0×16.0	◇	3,001
376	笠間主計助良秀書状	◇			16.5×189.0	61.購	4,122-1
377	島津久慶書状	◇		2月7日付	35.0×53.0	◇	◇ -2
378	◇	◇	笠間伊織宛	慶安2年2月 彼岸付	30.0×96.5	◇	◇ -3
379	◇	◇	笠間主計宛		32.0×46.0	◇	◇ -4
380	島津図書頭久通書状	◇	笠間主計助宛	正月5日付	35.0×50.5	◇	◇ -5

番号	資 料 名	数量	摘 要	年 代	大 き さ	受入年・方法	台帳番号
381	島津図書頭久通書状	1	笠間主計助宛	3月4日付	30.0×43.0	61.購	4,122-6
382	北郷作左衛門久盛書状	〃	〃	4月28日付	31.5×48.5	〃	〃 -7
383	喜入拱津守忠統書状	〃	〃	5月1日付	32.5×45.5	〃	〃 -8
384	桂大外記忠増書状	〃	〃	9月5日付	17.0×46.0	〃	〃 -9
385	川上十郎左衛門久慶書状	〃	〃	10月26日付	32.0×43.0	〃	〃 -10
386	笠間主計助へ申聞條々	〃		11月10日付	36.0×94.0	〃	〃 -11
387	手配書	〃			32.0×43.0	60.贈	2,853
388	人相書	〃			21.5×31.5	〃	2,854
389	藤原姓足立系 系図一卷	〃			26.3×465.0	61.贈	4,121
390	宗門改印形帳	〃		文久2年 6月25日	20.5×87.0	62.贈	4,206
391	妙円寺開祖四百年忌疏	〃	巻物、3作あり		31.0×639.0	元.贈	7,602
392	孟子 (巻一)	〃	薩摩府学蔵版		25.0×17.5	60.贈	2,978
393	〃 (巻二)	〃	〃		25.0×17.5	〃	2,979
394	〃 (巻七)	〃	〃			〃	2,980
395	〃 (巻十一)	〃	〃		25.0×17.5	〃	2,981
396	中庸	〃	〃		〃	〃	2,982
397	勇節居士遺語	〃			25.0×33.0	〃	3,003
398	橋口清左衛門家系図	〃			26.7×20.0	62.贈	4,188
399	橋口勘之丞家系図	〃			〃	〃	4,189
400	売地証文	〃			17.5×49.5	〃	4,191
401	小倉入兵衛書状	〃		4月12日	32.0×42.0	60.贈	2,991
402	是常書状	〃		文政元年 12月	15.5×32.5	〃	2,993
403	小村権兵衛書状	〃		12月30日	16.0×21.5	〃	2,995
404	起請文前書	〃			30.5×34.0	〃	3,002
405	井尻氏毎月三日掛銭貸付帳	〃		嘉永2年 正月	20.3×13.5	62.贈	4,185
406	覚書	〃		10月20日	15.0×44.0	60.贈	3,000
407	流町新田始覚日記	〃		安永8年	25.8×18.0	62.贈	4,184
408	覚書	〃		寛永15年	31.5×22.5	60.贈	2,999
409	某書状	〃		文政12年 5月24日	15.0×151.0	〃	2,997
410	毛利藤兵衛家系図	〃			87.5×90.0	〃	2,987
411	毛利藤兵衛家略譜	〃			31.5×435.0	〃	2,988
412	益書状	〃		10月28日	18.0×54.0	〃	2,996
413	毛利藤兵衛書状	〃		5月13日	30.0×44.5	〃	2,994
414	松沢善之助覚書 (其の一)	〃			17.5×12.5	63.贈	6,944
415	〃 (其の二)	〃			12.5×17.5	〃	6,945
416	南条家略系	〃			13.5×18.5	60.贈	3,004
417	佐州金銀採制図	2			27.0×1,085.0	62.贈	4,204